

公益社団法人 地盤工学会
基 準 部 会
 平成 23 年度第 6 回 議事録 (案)

担当 仙頭紀明 (幹事)

日時	平成 24 年 3 月 7 日 (水) 14:30~17:30					場所	地盤工学会 会議室	
★部長	安福 規之	○	★理事	小島 芳之	○	幹事	仙頭 紀明	○
部員	伊貝 聡司	×	部員	長田 昌彦	×	部員	坂元 耕三	×
部員	西岡 英俊	×	部員	畠山 正則	○	部員	平井 貴雄	×
★部員	宮田 喜壽	○	★部員	吉嶺 充俊	×	部員	利藤 房男	○
オブザーバー	中川直(代理:池田)	○						

★：H20 年度新任 ○：出席予定 ☆：出席（電子会議） ◎：代理出席 ×：欠席予定 △：未定

配 付 資 料

資料番号	資 料
資料-23.6.0	平成 23 年度 第 5 回基準部会議事録案
資料-23.6.1	平成 24 年度予算案 (第 3 次案)
資料-23.6.2	JGS・ISO 基準に関する検討資料 Vol.2
資料-23.6.3	中長期目標アンケートー企画部への提出版
資料-23.6.4	平成24年度事業計画「まえぶん」
資料-23.6.5	基準部・常設委員会の委員長・幹事の活動期間リスト
資料-23.6.6	第47回地盤工学会研究発表会 ISO委員会主催ディスカッション・セッションプログラム案
資料-23.6.7	新規制定学会基準案 岩石の多段階繰返し非排水三軸圧縮試験方法
資料-23.6.8	新規制定学会基準案 岩石の疲労特性を求めるための繰返し非排水三軸圧縮試験方法
資料-23.6.9	新設ワーキンググループ設立趣意書 地盤調査規格・基準委員会 WG12 地盤調査ー基本と手引きー 編集ワーキング
資料-23.6.10	基準番号の変更に関する資料
資料-23.6.11	「技能試験」の実施に関する検討資料 (平成24年1月理事会提出資料)
資料-23.6.12	理事会 (1/27, 2/24) 開催報告資料
資料-23.6.13	地盤工学表記法委員会報告資料 [2月14日議事録案]
資料-23.6.14	室内試験規格・基準委員会報告資料 [2月20日議事録案]
資料-23.6.15	会員からの質問の回答 (室内試験規格・基準委員会)
資料-23.6.16	地盤調査規格・基準委員会報告資料 [2月28日議事録案]
資料-23.6.17	会員からの意見の回答 (地盤調査規格・基準委員会)
資料-23.6.18	
回覧資料	

審議事項

1. 前回議事録の確認

(資料-23.6.0)

議事録を承認した。

2. 全体関係

(1) 日下部会長からの提案 継続審議

- ① JGS 基準の JIS 化の促進
- ② 基礎設計・施工基準の促進
- ③ ISO 活動への資金獲得
- ④ CEN のアジア版組織の構想
- ⑤ HP 掲載内容の改訂について

(2) 平成 24 年度予算

(資料-23.6.1)

三次案で予算が確定したことが事務局より報告された。

(3) 地盤工学会の ISO 規格への対応方針

(資料-23.6.2)

理事会 (2012.1.21) で説明した基準部会における検討経緯と今後の対応方針について、理事会および岸田副会長からいただいた意見が小島理事より紹介された。これらの意見を参考にして対応方針について今後も議論を続けていくことが確認された。

(4) 中長期ビジョンのアクションプラン進捗アンケート

(資料-23.6.3)

各委員会からの回答をとりまとめた結果が事務局より報告された。

(5) 平成 24 年度事業計画「まえばん」(案) 作成

(資料-23.6.4)

まえばん(案) が事務局より示された。追記・修正があれば事務局に連絡する。

(6) 常設委員会委員長・幹事の活動期間について

(資料-23.6.5)

部長より各委員会の委員長、幹事の活動開始年の一覧表が示された。在任期間が長期になっている委員会(地盤調査・設計施工基準委員会)には交代を働きかけることとなった。

3. 委員等の異動

理事会報告

(1) 室内試験規格・基準委員会

・平成 24 年度室内試験規格・基準委員会委員の交代

- ① 畠山 正則 幹事(応用地質) → 藤原 照幸 氏(地域地盤環境研究所, 現委員)
- ② 藤原 照幸 委員(WG3 圧密担当) → 大向 直樹 氏(応用地質)
- ③ 藤原 照幸 委員(WG7 ベンダー担当) → 川尻 峻三 氏(鉄道総合技術研究所)

委員の交代を承認した。

(2) 地盤調査規格・基準委員会

(3) ISO 国内委員会

(4) 地盤設計・施工基準検討委員会

(5) 表記法検討委員会

(6) 部員公募への応募 継続審議

4. ISO 国内委員会 関係

理事会報告

(1) 国際会議派遣(変更)

① ISO/TC 190/SC 3 連絡会議およびセルビア国内委員会との調整会議 **メール審議済**

- ・派遣先: ドイツ・ベルリンおよびセルビア・ベオグラード
- ・出張者: 坂井グループ・リーダー (JR 総研、ISO/TC 190/SC 3/WG 10 (予備試験法) – convenor、議長職)
- ・期間: 2012 年 2 月 26 日～2 月 29 日
(行程をただいま調整中のため、出張期間は変更となることがあります。)
- ・理由: 日本(地盤工学会)は、ただいま ISO/TC 190/SC 3/WG 10 (予備試験法) を主導し、日本案件 4 件のうち 2 件(油分向け比濁検出法およびクロム(VI)向けテストキット検出法)は、CD 投票前または NWIP 投票開始の状況にあります。このため、投票終了後の各案件の審議運営を整理する必要が生じたため、標題の連絡会議に出席するものです。

なお、セルビア国内委員会とは、同国が支持している日本主導の当 ISO/TC 190/SC 3/WG 10 の規格化事業について説明し、投票案件に対する協力方要請をおこなうために調整会議をおこなうことになったものです。

- ・費用：経済産業省支弁（重点 TC 指定）

以下承認済の内容

①ISO/TC190/SC3 連絡会議

- ・派遣先：ドイツ・ベルリン
- ・出張者：坂井グループ・リーダー（J R 総研、ISO/TC 190/SC 3/WG 10（予備試験法）— convenor、議長職）
- ・期間：2011年12月21日～12月24日（出張期間は前後することがあります）
- ・理由：日本（地盤工学会）は、ただいま ISO/TC 190/SC 3/WG 10（予備試験法）を主導し、日本案件4件のうち2件（油分向け比濁検出法および陰イオン向けテスト・キット検出法）について、CD または NIWP への投票切替えの手続きをしています。このことについて、所属 SC である ISO/TC190/SC3 の連絡会議で調整をはかることになったため、関係委員を出張させるものです。
- ・費用：経済産業省支弁（重点 TC 指定）

②ISO/TC221/WG2 と WG4 会議

- ・派遣先：ペルー・リマ
- ・出張者：宮田壽喜氏（防衛大学校、TC221 国内委員会委員長）
- ・期間：2012年4月30日～5月5日（出張期間は、前後することがあります。）
- ・理由：ISO/TC221/WG2(用語・識別・サンプリング)と WG4(水理特性)のミーティングに参加する。WG2 では、ジオシンセティックスの標準用語集、現場での識別法、厚さ試験、単位体積重量試験の改定が議論される。WG4 では、繰り返し載荷条件下での力学的損傷の評価法、荷重作用条件下での透水試験法が議論される。これらの議論に、我が国の実情を反映させ、規格・基準に関する最新の情報を入手するために1名の委員を派遣したい。
- ・費用：土木学会 ISO 活動費+地盤工学会 ISO 活動費。※重点 TC に指定された場合は経済産業省支弁。

委員の派遣を承認した。

③日本提案「クロム(VI)向けテスト・キット検出法」に関する調整会議

メール審議済

- ・派遣先：蘭国・アムステルダムおよび英国・マンチェスター
 - ・出張者：浅田グループ幹事（清水建設、ISO/TC 190/SC 3/WG 10（予備試験法）Project leader、議長職に準ずる者）
 - ・期間：2012年2月23日～2月25日（出張期間は、前後することがあります。）
 - ・理由：日本（地盤工学会）は、ただいま ISO/TC 190/SC 3/WG 10（予備試験法）を主導し、日本案件1件を ISO 化し、別途3件をただいま審議中です。このうち、クロム(VI)向けテストキット検出法については、1月23日付けで NWIP 投票が開始されたところです。この投票について、関係主要国の協力方を要請し、また、投票後の審議運営について協議をする必要が生じたため、事前の調整会議に出席するものです。
 - ・費用：本件は、経済産業省補助金を充当いたします
- 議題書にもれていたため追記した。

(2) 第47回地盤工学研究発表会（八戸大会）における

ディスカッション・セッションの開催

(資料-23.6.6)

DS において「国際規格・基準に関する地盤工学会の戦略」について、基準部長が10~15分の発表を行う。発表内容は、理事会に報告した検討経緯と今後の対応方針を元にする。

5. 地盤工学表記法委員会 関係

6. 室内試験規格・基準委員会 関係

理事会報告

(1) 新規制定地盤工学会基準

- ① 岩石の多段階繰返し非排水三軸圧縮試験方法
 - ② 岩石の疲労特性を求めるための繰返し非排水三軸圧縮試験方法
- 上記2基準を軽微な修正を行う前提で承認した。

(資料-23.6.7)

(資料-23.6.8)

7. 地盤調査規格・基準委員会 関係

理事会報告 (1) 新設 WG の設置

- ① ワーキンググループ 12 地盤調査－基本と手引き－ 編集ワーキング (資料-23.6.9)

WG の設置を承認した。平成 25 年 8 月発刊を目標とすることが報告された。

- (2) 基準番号の変更 (資料-23.6.10)

基準番号を変更することを承認した。ただし、一部の基準 (3431、3411、3421) は載荷試験 (百の位が 5) に分類されているのに、サウンディング (百の位が 4) の番号のままである。基準番号は度々変更すると混乱が生じることから、今回の改正を機に変更した方がよいのではないかと意見があったため、上記の 3 基準については再度検討することになった。

8. 地盤設計・施工基準委員会 関係

特になし。

9. 販売促進 WG

特になし。

10. 基準部所管刊行物

特になし。

11. その他

理事会報告 (1) 「技能試験」の実施に関する検討 (資料-23.6.11)

理事会 (11 月 30) 以降の対応報告、および、部会前に行った打ち合わせ (参加者：澤先生、安福部長、小島理事、仙頭幹事) について部長より説明があった。技能試験を 25 年度以降学会の事業として継続実施することの可否、実施する場合に解決すべき課題、実施体制等を具体的に検討するための WG (仮称 技能試験実施検討 WG) を基準部内に設置する方針が確認された。WG の構成は基準部長を委員長とし、委員には学会事務局、全地連、官、室内試験規格・基準委員会のメンバー、澤先生を委員とする案が確認された。

報告事項

1. 理事会 (1 月 27 日, 2 月 24 日 (書面)) 開催報告 (資料-23.6.12)

基準部に関連する事項について部長より報告があった。

2. 全体関係

3. 部会・委員会関係

(1) ISO 国内委員会

理事会報告 ① 平成 23 年度 ISO 対応活動費の資金援助要請に関する経過報告

(相手先)	(金額)		報告書の有無	(納期)	
	助成	受託			
・沿岸開発技術研究センター	×				
・土木学会	100 万円		×		
・三菱総合研究所 (回答作成)	50 万円		○		
・三菱総合研究所 (重点 TC 旅費)	147 万円		○		
・日本土木工業協会	50 万円		未定		
・日本規格協会	×				
・経済産業省		300 万円	○		
・シーメンス・ヘルスケア		50 万円			委託研究※1
小計	347 万円	350 万円	※1 委託研究は、WG10 のグループ内で実施。委託費は、ISO 対応活動費として使用		
合計	697 万円				

ISO 対応活動に対する理解を深めていただくために、資金援助先に提出する報告書を理事会で閲覧したいとの提案があり了承された。

(2) 地盤工学表記法委員会

- ① H23 第 4 回委員会 (2 月 14 日開催) 報告 (資料-23.6.13)

第 4 回委員会議事録が紹介された。

(3) 室内試験規格・基準委員会

- ① H23 第 3 回委員会 (2 月 20 日開催) 報告 (資料-23.6.14)

第 3 回委員会議事録を元に報告があった。ベンダーエレメント基準化 WG において基準の解説の英文化を検討していることが報告された。その際の英訳費を委員会費から支出することの可

否について質問があった。基準の解説の英訳は義務ではないものの、学会の規格・基準の国際化方針とも整合しているため、委員会予算の範囲内であれば、英訳することおよび英訳費の支出を妨げるものではないとの方針が確認された。

②会員からの質問 (資料-23.6.15)

土の含水比試験の試験個数に関する質問とその回答が報告された。

(4) 地盤調査規格・基準委員会

① H23 第4回委員会 (2月28日開催) 報告 (資料-23.6.16)

JISの6規格のJISCでの審議の進捗状況が報告された。

規格・基準の解説はHPのフォルダーにアップし、基準部でもその内容が確認できるように事務局と準備中であることが報告された。今後のスケジュールは解説アップの完了は5月頃を目途とし、6月頃に基準部承認を考えていることが報告された。

②会員からの意見 (資料-23.6.17)

「トレーサーによる地下水流動検層方法」に関する質問と回答が示された。

(5) 地盤設計・施工基準委員会

特になし。

(6) 販売促進WG

特になし。

(7) 英文HP

特になし。

4. 日本工業標準調査会 土木部会

特になし。

●H23年度 基準部関係委員会開催状況

委員会名		委員会開催日, 太字は次回開催日
基準部会	安福 規之	
ISO 国内委員会 ・WG1 ISO/TC182 対応 ・WG2 ISO/TC190 対応 TC190/SC3/WG10 対応 WG ・WG3 ISO/TC221 対応	大谷 順 木幡 行宏 平田 健正 (坂井宏行) 宮田 喜壽	
室内試験規格・基準委員会 ・WG1 物理特性 ・WG2 化学特性 ・WG3 透水・圧密特性 ・WG4 力学特性 ・WG5 安定化・締固め特性 ・WG6 ジオシンセティックス ・WG7 ベンダーエレメント試験基準化 ・WG10 「土質試験-基本と手引き-」改訂編集 WG ・WG12 動的試験基準検討 WG	古関 潤一 (小口秀俊) (乾 徹) (藤原照幸) (塚本良道) (阿部哲生) (椋木俊文) 山下 聡 安川 郁夫 伊藤 洋	

地盤調査規格・基準委員会 ・WG1 物理探査・検層（第3編） ・WG2 ボーリング・サンプリング（第4,5編） ・WG3 地下水（第7編） ・WG4 サウンディング（第6編） ・WG5 載荷試験（第8編） ・WG6 現場密度試験（第9編） ・WG7 現地計測（第10編） ・WG8 環境化学分析のためのサンプリング（第11編） ・WG9 地盤調査の計画、資料調査・地質調査（第1,2編） ・WG10 地盤環境調査（第12編）	谷 和夫 松島 潤 曾根田正俊 中村 裕昭 田中 洋行 細野 高康 三嶋 信雄 上野 将司 平田 健正 木谷日出男 稲垣 秀輝	
地盤設計・施工基準委員会 ・WG1 土構造物 ・WG2 杭の水平載荷試験 ・WG3 グラウンドアンカー ・WG4 サンドコンパクションパイル工法 ・WG5 地山補強土	北詰 昌樹 本城 勇介 中井 正一 山田 浩 寺師 昌明 龍岡 文夫	
地盤工学表記法 ・WG-A	岸田 隆夫	

5. その他

- 1) 理事会（平成24年 3月 16日（金）開催予定）への審議事項・報告事項
- 2) 総務部会（平成24年 4月 日（ ）開催予定）への提案事項
- 3) 次回以降の部会開催日
 - ・ 23年度第6回：平成24年 5月18日（金）14:30時～
（対応理事会 H24.5.18）
 - ・ 24年度第1回：平成23年 7月 日（ ）14:00時～
（対応理事会 - ）

☆ 平成23年度 理事会・運営連絡会議 開催日程（予定含む）

◎ 理事会

○ 運営連絡会議

- ① 4月22日（金）
- ② 5月13日（金）
- ★ 6月10日（金）総会/理事会
- ③ 6月24日（金） ※書面審議
- ④ 7月29日（金）
- ⑤ 9月30日（金）
- ⑥ 10月28日（金） ※書面審議
- ⑦ 11月30日（水）
- ⑧ 12月22日（木） ※書面審議
- ⑨ 1月27日（金）
- ⑩ 2月24日（金） ※書面審議
- ⑪ 3月16日（金）

 ⑫ 4月27日（金） ※書面審議

⑬ 5月18日（金）

★ 6月 日（ ）総会/理事会